

令和7年度第1回狭山市スポーツ推進審議会会議録

開催日時 令和7年6月23日(月)
19時から21時まで
開催場所 狭山市役所301会議室
出席者 池森委員、木谷委員、鈴木委員、大野委員、宮坂委員、
梅村委員、芝田委員、山崎委員、
欠席者 太田委員、稲葉委員
事務局 滝嶋教育長、五十嵐生涯学習部長、河井スポーツ振興課長、大堀主査、
木村
傍聴者 なし

議 題

(1) 令和6年度社会体育関連事業実施状況について

【資料1】令和6年度社会体育関連事業実施状況を基に説明をした。

質 疑

委 員 サッカー教室の募集方法はどのように実施したのか。
集客状況はどうだったのか。

事務局 広報とHPを活用した周知に加え、新たに導入されたスクリーンアプリを活用して、保護者へ直接チラシデータを配信した。集客率も高く、盛況に教室の開催ができた。

委 員 女の子の参加が多いのか。

事務局 女の子の参加は3割程度となっている。

委 員 さいたまブロンコスとの連携協定の経緯について

事務局 令和6年8月にバスケットクリニックを開催し市内の中学生にバスケット指導をしていただいた。現役選手やU18コーチと間近で触れ合うことができ、大変好評な教室となった。今後も同様の事業を実施するため、令和7年2月に連携協定を締結した。

委 員 クリニックの費用は無料で実施が可能なのか

事務局 令和6年度のクリニックでは、講師謝礼金をお支払いした。
今後の謝礼金については、都度協議をしていく。

議 題

(2) 令和7年度社会体育関連事業計画について

【資料2】令和7年度社会体育関連事業計画を基に説明をした。

質 疑

委 員 市民の方の教室への要望についてどのような方法で取り入れているのか。

事務局 各教室の最終日にアンケートを実施している。内容については、教室の回

数や指導者の教え方などの項目があり、今後取り組みたい種目についてもアンケートを実施し、次年度の事業計画の参考としている。

- 委員 テニス教室に参加している年齢層は。
- 事務局 平日開催の教室であり、主婦層や高齢者の参加が多かった。今年度は、20代からの参加申込もあった。
- 委員 幅広い年齢層の教室参加を確保するため、年齢に応じた募集制限等を設ける予定はあるのか。
- 事務局 年齢等を制限した募集条件の設定はないが、幅広い世代の参加者が申込ができるよう計画を立てていきたい。
- 委員 ボクシングでエクササイズが若い世代に人気がありそうだが、教室参加後の継続した活動ができる受け入れ団体はあるのか。
- 事務局 講師が所属しているボクシングジムが狭山市内にあることから、今後の受け入れ環境として活用できる場所がある。
- 委員 若年層をターゲットにした教室開催の予定はないのか。
- 事務局 ボルダリングなど、夏休み期間中に教室を開催している。
- 委員 教室の指導者はどのような方に依頼しているのか。指導者資格の確認もあるのか。
- 事務局 主に狭山市スポーツ協会加盟団体の指導者に協力をいただいている。指導資格の有無については、確認していない。
- 委員 指定管理者の自主事業について、事前の協議や調整は実施しているのか。
- 事務局 自主事業の実施については、指定管理者より報告をいただいている。事業の内容について、スポーツ振興課と事前の協議や調整はしていない。
- 委員 子どもたち向けの夏休み企画がもう少し増えると良いのでは。
- 事務局 ボウリング教室や、キッズダンス教室など空調が使える施設を会場に教室開催を計画している。夏休み期間中に開催できる子供向け教室の内容が充実するよう検討していく。

議 題

(3) 中学校休日部活動の地域移行について

【資料3】部活動の地域連携に向けた地域クラブ活動ガイドライン（素案）を基に説明した。

質 疑

- 委員 受益者負担という表現は言葉を変えたほうが良いのではないかと。収益事業のようなイメージを与えてしまう。
- 事務局 参加費や活動費のような表現を検討する。
- 委員 参加者で楽しく活動をする。に重きを置くと、競技スポーツとしてのレベルは間違いなく落ちる。競技スポーツとして能力を高めていきたい子どもたちの受け皿はどうなるのか。競技人口の減少につながるのではないかと。
- 事務局 競技力を向上させていくチームを市が立ち上げることは難しいと考えている。

能力を高めることを第一目的とする競技志向の高いチームは、地域クラブから独立して活動することも可能と考えている。

委員 独立ではなく階層化を目指すべきではないか。総合型地域クラブがあればその対応が可能ではないか。

事務局 総合型地域クラブを立ち上げるハードルはとて高く、今すぐに設置はできない。今後地域の中でそのような団体が生まれるのが望ましいと考える。

委員 学校管理下の部活動でなくなることからトラブル等への対応について不安が広まっていたが、運営団体という組織が出てきたことで安心感が得られた。運営団体の組織体制が整うことで、地域指導者の人材確保にも効果が出ると予想される。

委員 これまで教員が担っていた指導者としての役割が、地域の人材へと移行していく。指導者の選定も大変な作業であり、学校や保護者と連携できる役割の人員配置が必要なのではないか。一つの輪になるような組織的な対応が今後求められる。

【会議資料】

- ・令和7年度第1回狭山市スポーツ推進審議会 次第
- ・令和6年度社会体育関連事業実施状況
- ・令和7年度社会体育関連事業計画
- ・部活動の地域連携に向けた地域クラブ活動ガイドライン（素案）